

頭から足までの動脈硬化性病変に対応 「二次脳卒中センターコア」認定施設



脳神経外科や循環器内科など、複数が在籍する各科専門医が連携し、あらゆる急性期疾患に対応すべく、最新の治療を提供。各種医療機器の更新にも努め、2024年6月からはAI機能を搭載し、高精細化と撮像時間短縮を実現するキャノン製3テスラMRIが稼働。従来装置では約20分を要した撮影時間が最短約6分と半分以下に短縮。患者にとってより負担の少ない検査を提供。「周辺住民の皆様の安心な生活を支えられるよう、日々努めてまいります」と話す野中理事長(左)と高橋脳卒中センター長(右)

脳疾患や循環器疾患をはじめとする各分野の専門医が複数在籍し、「頭から足の先まで、動脈硬化病変を治療する病院」として地域医療に貢献する札幌白石記念病院。

日本脳卒中学会「一次脳卒中センターコア施設」にも認定され、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、脳梗塞急性期の血栓溶解療法(t-PA静注療法)や血栓回収療法、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、治療適応が拡大した「フロライダイバーター留置術」や、新たに登場した「WEB(袋状塞栓デバイス)」による治療、頸動脈狭窄ステント留置術など、脳血管内治療に定評がある。さらに「脳卒中相談窓口」を設置し、脳卒中発症後の療養やリハビリテーション、再発予防などの啓発活動、家族の医療・介護に関する適切な情報を提供にも努める。「当病院では早期退院に向け各種リハビリにも力を入れ、回復期リハビリ病棟も備

え、地域の療養施設やケアマネジャーとも連携し、急性期から回復期、在宅まで、医療と介護の切れ目のない支援に努めています」と高橋脳卒中センター長は話す。

高橋脳卒中センター長は脳神経内科医で、開頭手術を除く脳卒中治療を脳神経外科医とともに行うほか、神経内科医として脳卒中の症状に隠れている神経疾患を見逃さない診療にも力を注ぐ。また、脳神経超音波検査士の資格を持ち、超音波を駆使した脳梗塞の原因検査を行うことで再発予防に努める。毎朝の「ブレイン・ハート・カンファレンス」も特筆され、循環器内科や心臓血管外科とのシームレスな診療体制も同病院の強みだ。

2025年度からは認知症専門医が2人から3人に増員。本院に加え、「南郷18丁目クリニック」にも「もの忘れ外来」を開設し、関心の高い認知症や軽度認知障害の早期発見にも力を入れる。



- ①2024年7月1日に開院した脳神経外科と脳神経内科の「医翔会南郷18丁目クリニック」(白石区南郷通18丁目北1-20)。地下鉄東西線南郷18丁目駅2番出口から徒歩1分
- ②2024年9月2日に開院した循環器内科と内科、心臓血管外科の「医翔会道庁前クリニック」(中央区北4条西6丁目1毎日札幌会館3階)。地下鉄南北線さっぽろ駅10番出口から徒歩5分と利便性も良い



理事長
野中 雅氏

1985年札幌医科大学卒業。札幌医大脳神経外科入局。2009年白石脳神経外科病院副院長、12年より院長、14年より理事長。日本脳神経外科学会・日本脳神経血管内治療学会各専門医ほか



脳卒中センター長
高橋 賢氏

2004年岩手医科大学卒業。21年札幌白石記念病院脳神経内科、同年4月より現職。日本神経学会・日本脳卒中学会各認定専門医・指導医。日本脳神経血管内治療学会認定専門医ほか

脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科(人工透析)・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科(長嶋かな子)

社会医療法人 医翔会

札幌白石記念病院

☎011-863-5151

札幌市白石区本通8丁目南1-10

<https://www.ssn-hp.jp/>

診療時間／

月～金 9:00～12:00(受付 8:40～11:30)
13:00～17:00(受付11:30～16:30)

(急患応需)

休診日／土曜・日曜・祝日・年末年始

最寄りアクセス／

中央バス・JRバス本通8丁目停留所から徒歩1分、
地下鉄東西線南郷7丁目駅から徒歩5分
本院と南郷18丁目クリニックを結ぶ無料送迎バスを
毎日(平日)運行中。2025年6月からは本院と地下鉄
白石駅・JR白石駅間の新コースも運行開始